男女協働参画推進フェスティバル開催 !!

2月25日、山梨県立男女共同参画推進センターぴゅあ富士において、「第15回都留市男女共同参画推進フェスティバル」を開催しました。

今回のフェスティバルは、参加したことをきっかけに、男女共同参画の視点で生活を見直すとともに、家庭や地域で活動を推進し参画社会を広げることを目的に開催したものです。

当日は、「共同参画で四角じゃない丸い社会」と題し、落語家・笑福亭松枝さんによる高座での講演がありました。非常にユーモアあふれる内容で、会場は笑いに包まれていました。

その後は来場者全員が参加する「男女共同参画クイズ」を行い、大変会場は盛り上がりました。クイズの勝者には、エコせっけんがプレゼントされました。また、男女共同参画にちなんだ替え歌の披露なども行い、男女共同参画について楽しく学ぶことができました。

■（上）笑福亭松枝氏。落語に見られる夫婦の関係や、身近な話などを基に、面白おかしく男女共同参画を紹介していただきました。■（下）男女共同参画クイズでは、○×形式で楽しく参加してもらいました。

tsuru topics

ドクターヘリ運行に向けた訓練を行いました！

3月13日、市消防署と山梨県立中央病院が共同で、ドクターヘリ運行に向けた訓練を行いました。

10時にやまびこ競技場から県立中央病院へドクターヘリ要請の無線を入れると、甲府市の県立中央病院からわずか15分という短時間でドクターヘリが到着しました。着陸後、医師と看護師、パイロット、整備士が降り立ち、手際良く患者の搬送訓練を行いました。

このドクターヘリは、県内全域において4月1日より本格運行し、県立中央病院を中心として、県内を15分以内でカバーします。このため、救命率の向上や遠隔地の救急医療の向上、また、後遺症の軽減などの効果の他、災害発生時など、幅広い活躍が期待されています。

ドクターヘリの出動要請は、消防本部によって行われ、毎日8時30分から日没までの間に運用されます。また、郡内地区は神奈川県の東海大学医学部付属病院との協定によって運行されるドクターヘリもカバーしていることから、本市の救急医療は、万全の体制が整ったといえるでしょう。

～そこには、きれいな水が、あるから～

ペットボトル飲料水『つるの水物語「熊太郎の大好物」』
市の木、花、鳥などが散りばめられた、
「雫のデザイン」に一新！

本市のおいしい水をPRするため、平成の名水百選「十日市場・夏狩湧水群」内に位置する、富士山湧水である第一水源（通称熊太郎水源）の原水をペットボトルに詰めた『つるの水物語「熊太郎の大好物」』を平成19年5月より製造販売しています。

今回、本市の魅力的な地域資源である〝豊かな水〟を市内外の方々へ更にPRを図るためラベルを一新します。新ボトルは、4月29日の市制祭の記念品でお披露目します。

なお、新ボトルの販売開始は、現在のボトルの在庫状況を見ながら販売します。購入をご希望の方は、水資源活用課（本庁舎裏）及び左記市内販売所でお求めください。

※戸沢の森和みの里（月待ちの湯・種徳館）・中央道谷村パーキング（上り・下り）・都ゴルフ倶楽部・市商工会・市立病院売店・市役所購買・ふるさと会館

雫の中に都留市の魅力が一杯詰まっているね！どこに何が散りばめられているかわかるかな？さあ、みつけてみよう！

★ラベルデザインはどのように決定したの？

このラベルデザインは、全国各地から149点の作品が応募され、その選考のための投票をインターネットなどで行い、市民を始め、北は北海道から南は沖縄県まで2,600票を超える投票により上位30作品が選考され、平成23年11月に市民の代表などによる最終選考審査委員会を経て決定したものです。

★雫の中には都留市の何が散りばめられているの？

市の木「赤松」、市の花「梅」、市の鳥「うぐいす」が散りばめられ、第一水源（通称　熊太郎水源）近くの神社にまつわる話の『熊太郎』=「キツネ」『鳥居」が表現され、水源である富士山湧水のイメージが配置され、これらのキーワードに、更に太陽や蝶など都留市の自然の豊かさが雫の中に施され、『都留市のおいしい水』が表現されています。（作者：石崎桃子（横須賀市））

tsuru topics

～都留市の新たなお土産品が誕生～『つるの雫』販売開始！

「自然豊かな〝山紫水明　都留市〟」を
ボトル＆グラスで全国へ発信」！

今回、上記のラベル一新とあわせ、自然豊かな〝山紫水明のまち・都留市〟を広く全国へPRするため、ペットボトル飲料水「熊太郎の大好物」と、そのラベルデザインの雫をあしらった「グラス」をセットにした新たなお土産、『つるの雫』の販売をこの春からスタートさせます。

グラスは、大手食器メーカー「ノリタケカンパニーリミテド」によりプロデュースされています。これは、本市出身で、現在ノリタケ営業部に所属している清水峰明さんのご協力により実現した企画です。

箱の中には、ボトルとグラス以外に、本市のもう一つの魅力的な地域資源である「山」をテーマとして、間伐材を利用したコースター、子どもたちが作成したどんぐり・松ぼっくりなどの自然満載の手作り作品も盛り込む予定となっています。

『つるの雫』の箱の中で、都留市の自然豊かなイメージを「水」と「山」とで表現することにより、都留市を広くPRし、多くの観光客の誘致につながることを目的としています。

この『つるの雫』のお目見えは、4月29日の市制祭の式典で、表彰者・功労者の方々へ記念品としてお渡しすることから始まります。

購入をご希望の方は、左記販売所及び（株）都留市観光振興公社へお問い合わせください。

販売所　戸沢の森和みの里（月待ちの湯・種徳館）・リニア見学センターなど
問合先　☎（45）4111
（株）都留市観光振興公社
産業観光課商工観光担当